



シリーズ～チェンジ～
2016/4/17



弱虫万歳！

士師の時代

- ヨシュアをリーダーとして、カナン入国を果たしたイスラエル人
 - かつてアブラハムに与えられた土地に帰った
- 世代が変わると、主を捨て、土着の神々に使えた
- 主は警告として周囲の国々に攻め込ませた
- 苦境に立たされ、民が悔い改めると、主は「士師」と呼ばれる指導者によって救われた
 - 主はなぜわざわざ「人」を用いられたのか？

弱虫登場 <士師記6章>

- ミディアン人により苦しめられる
 - 「イスラエルの人々は、主の目に悪とされることを行った。主は彼らを七年間、ミディアン人の手に渡された。」6:1
- 敵を恐れて麦を打っていた**ギデオ**ン
 - 「ギデオンは、ミディアン人に奪われるのを免れるため、酒ぶねの中で小麦を打っていた。」11
 - 「酒ぶね」:浴槽のような形とサイズ
 - 麦打ちは穂から麦粒を取る作業。藁やカスが飛ぶので、**普通は風通しの良い所で行う**

ギデオンを召された主

- 主の使いが「**勇者よ**」と呼びかけた
 - 主の御使いは彼に現れて言った。「勇者よ、主はあなたと共におられます。」12
- ギデオンは、主が民を見放されたのでこんなことになった、と文句を言った13
- あなたがイスラエルを救えと主は言われた
 - 「あなたのその力をもって行くがよい。あなたはイスラエルを、ミディアン人の手から救い出すことができる。わたしがあなたを遣わすのではないか。」14

なかなか承諾しないギデオン

- 自分はふさわしくないと拒むギデオン
 - 彼は言った。「…わたしの一族はマナセの中でも最も貧弱なものです。それにわたしは家族の中でいちばん年下の者です。」15
- 主はかまわずギデオンを励ます
 - 主は彼に言われた。「わたしがあなたと共にいるから、あなたはミディアン人をあたかも一人の人を倒すように打ち倒すことができる。」16
- ギデオンは“しるし”を求める
 - 主の使いが捧げ物を焼き尽くした

ギデオン,立ち上がる <士師記7章>

- 父のバアルとアシュラの祭壇・像を壊す
 - 人々はギデオンを殺せ,と迫ったが,父は「バアルが神なら、…自分で争うだろう」と言った
- 戦士を集める
 - 「**主の霊がギデオンを覆った**。ギデオンが角笛を吹くと、アビエゼル(ギデオンの一族)は彼に従って集まって来た。」
 - マナセ・アシエル・ゼブルン・ナフタリ族からも
- 2度主を試す←**まだまだ慎重なギデオン**
 - 羊の毛の奇跡

いざ出陣

■ 兵士の選別

- 主はギデオンに言われた。「あなたの率いる民は多すぎるので、ミディアン人をその手に渡すわけにはいかない。渡せば、イスラエルはわたしに向かって心がおごり、自分の手で救いを勝ち取ったと言うであろう。」7:2

■ 32,000人→10,000人<勇敢な者>

- 「恐れおののいている者は皆帰り、ギレアドの山を去れ」3

■ 10,000人→300人<警戒心のある者>

- 「犬のように舌で水をなめる者、すなわち膝をついてかがんで水を飲む者はすべて別にしなさい。」5

主の援護射撃

- 数え切れないほどの大軍
 - 「ミディアン人、アマレク人、東方の諸民族は、いなごのように数多く、平野に横たわっていた。らくだも海辺の砂のように数多く…」7:12
- 主が見せられた夢
 - 「わたしは夢を見た。大麦の丸いパンがミディアンの陣営に転がり込み、天幕まで達して一撃を与え、これを倒し、ひっくり返した。こうして天幕は倒れてしまった。」13-14
- ギデオンは敵陣に行くのを恐れたが…
 - 「もし下って行くのが恐ろしいなら、従者プラを連れて敵陣に下り彼らが何を話し合っているかを聞け。」10-11

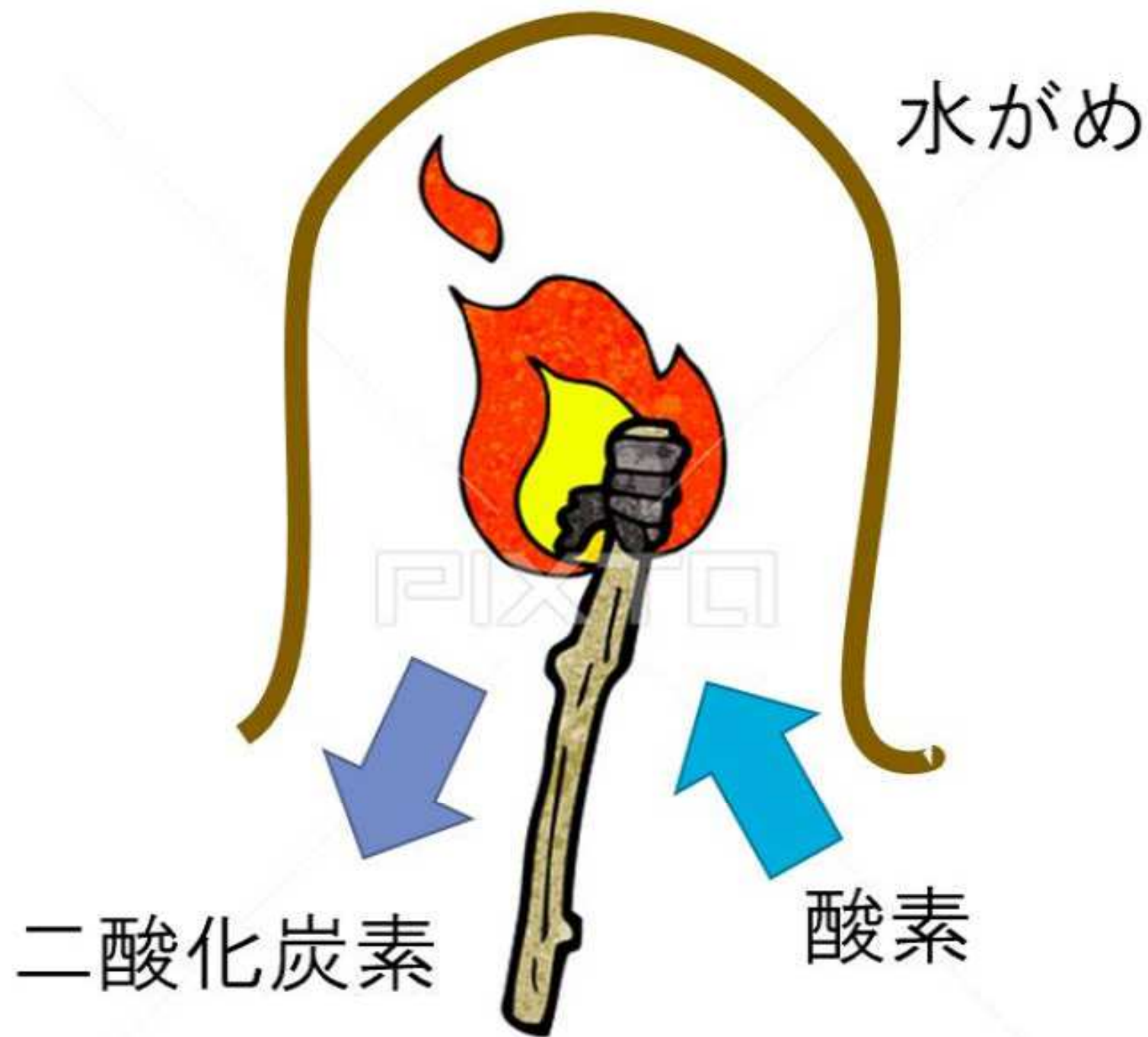
松明(たいまつ)&角笛作戦

- 勝利の確信

- ギデオンは、その夢の話と解釈を聞いてひれ伏し、イスラエルの陣営に帰って、言った。「立て。主はミディアン人の陣営をあなたたちの手に渡してくださった。」7:15

- 角笛と松明と空の水がめ

- 「彼は三百人を三つの小隊に分け、全員に角笛と空の水がめを持たせた。その水がめの中には松明を入れさせ…」16



大勝利!

- 300人の兵士は静かに敵陣に近づいた
 - 松明に火を付けたまま移動した
- 一斉に水がめを割り、角笛を吹き、叫んだ
 - 三つの小隊はそろって角笛を吹き、水がめを割って、松明を左手にかざし、右手で角笛を吹き続け、「主のために、ギデオンのために剣を」と叫んだ。20
- 敵はパニックに陥り、同士討ちを始めた
 - 「敵の陣営は至るところで総立ちになり、叫び声をあげて、敗走した。三百人が角笛を吹くと、主は、敵の陣営の至るところで、同士討ちを起こされ…」21

弱虫万歳!

- 主は弱虫のギデオンをあえて選ばれた
 - 酒ぶねで麦打ち・しるしを求める・従者と敵陣
- そんな彼を「勇者」と呼ばれた
 - 主が共におられるなら勇者になれる
- わざわざ兵士を減らされた
 - 自分の力で勝ったと思わないように
- 敵に夢を見せ,サポートされた
 - 敵に恐怖を与え,ギデオンを励ます
- 少人数ゆえに可能だった奇襲作戦